

令和元年度 第3回朝倉市地方創生会議 議事概要

1. 会議概要

日 時	令和元年 11 月 26 日（火） 19：00～20：30	
場 所	朝倉市役所 別館第 1・2 会議室	
出席者	委 員	出席：8 名 欠席：2 名
	朝 倉 市	総務部長、 事務局（総合政策課）4 名
次 第	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 議事 （1）朝倉市人口ビジョン（案）について （2）第 2 期朝倉市総合戦略（骨子案）について 4. その他 5. 閉会	
配布資料	別紙 1 朝倉市地方創生会議スケジュール（予定） 資料 1 朝倉市人口ビジョン（案） 資料 2 第 2 期朝倉市総合戦略（骨子案）	

2. 議事要旨

（2. 会長あいさつ）

- ・皆様こんばんは。今回は色々資料の説明が詳しくあったが、今回は変更点を事務局から話していただき、皆様からのご意見をたくさん頂きたいと思う。どうぞ宜しくお願いする。

（3. 議事）

（1）朝倉市人口ビジョン（案）について 資料 1

委員名	意見、考え等
A	30 頁と 31 頁の年齢 5 歳階級別人口推計について、2060 年の 90 歳以上の数値が社人研推計準拠と比べ朝倉市推計は 90 人ほど大きい理由はあるのか。
事務局 1	モデルケースとして出生率が 2035 年に 1.86、2045 年には 2.07 を目指している点と、人口移動の均衡、いわゆる流出（転入転出）が均衡になる点も推計にあてはめられている為、転出入が均衡になると人口が少しだけ増えてくるのが棒グラフに表れている。

（2）第 2 期朝倉市総合戦略（骨子案）について 資料 2

委員名	意見、考え等
B	第 2 期朝倉市総合戦略骨子（案）の中で完全に消えてしまった項目もあるのか。
事務局 1	「第 1 期、基本目標 1（3）観光振興⑤DMO の設置検討」は第 2 期には出てこない。それから「基本目標 2（1）サポート体制の充実④CCRC の促進」も言葉としては出てこない。ただ将来活躍のまちづくりということで、高齢者の移住を中心にして美奈宜の杜と取り組んだ経緯がある。しかし、国の考え方が高齢者の移住中心から全世代全員活躍のまちづくりのコミュニティを作っていくという方向に変わってきている。CCRC は第 2 期の基本目標 4（2）②に含めて今までと違った形で取組みを検討したい。

委員名	意見、考え等
事務局 1	<p>補足だが、先ほど出てきた DMO は観光の用語であって、Destination Management Organization の略である。地域にある観光資源に精通し、地域と共同して観光地域づくりを行う法人ということでこれを設置する検討については、今回は計画の中に求めている。</p> <p>CCRC というのは、例えば美奈宜の杜を想像していただくと分かりやすいと思う。美奈宜の杜がそもそも何故できたかという、仕事をリタイアされ田舎暮らしを楽しむ。そこで終の棲家として生活していかれるということを念頭におかれて来られているわけである。CCRC だけでなく、いろんな形で移住定住促進していく施策としては CCRC だけを旗頭にしないという考え方である。</p>
C	<p>「意見を言え」と言われても言えない。基本目標第 1 期の具体的な骨子というのは分かったが、具体的な施策がどんなものがあつたのか合わせて提示していただくと評価しやすい、分かりやすい気がする。今日は間に合わないと思うけれども、骨子についてはことばだから、これについて何を言えば良いのか。私の考え方はおかしいだろうか。</p>
事務局 1	<p>骨子として項目を中心に示しているが、具体的に第 1 期の取組については第 1 回目の会議で簡単にまとめた資料を出していたのでそれを参考にさせていただきたい。より詳しい資料を要望とのことであれば、準備させていただきたいと思う。</p> <p>第 2 期の具体的な施策について、骨子に少し肉付けをする形で総合戦略をまとめている。具体的に骨子にぶら下がる事業については、毎年度のことであるけれども予算等が伴うことになるので、具体的な事業については戦略とは別の形で毎年とりまとめをしている。</p> <p>当初予算の固まった後にこの柱にぶら下がる今年度の事業はこういう事業です、ということで別途まとめている。予算の査定が 1 月中旬くらいまでであるので第 6 回、最後の地方創生会議の中でお示ししたい。</p>
事務局 1	<p>補足だが、1 回目の資料の中の資料 4 に大きな項目の指標や、それぞれの個別の目標数値やどんな取組が必要か書いてある。それを統括しながら総合戦略に引き継いでいく。総合戦略そのものについては、1 回目の地方創生会議資料の中で、もともと総合戦略がどういうものか、別に示していたわけだが、第 1 期の総合戦略、資料 3 を見ていただくと、具体的にそれぞれの実施取組等については触れてはおりません。こういう取組では必要だという書き方をしている。実際に毎年度 5 か年でいろんなことをしていく。この戦略に沿って予算組みをしていく。それが申し訳ありませんが分かりづらかったと思う。ご理解を賜われればと思う。</p>
C	<p>第 1 回会議の資料 4 で例えば、基本目標の「雇用の創出・地元の就職」では若者の地元就職支援について、具体的な施策があつて出たかというのは、この資料 4 のどこに出てくるのか。具体的な評価というのは？評価で言えば数値は良くなっている。100%を超えている。数値については何も言うことはない。数値ではなく、この項目のために具体的な施策は何をしてきたのか、それがどうだったのか検証すべきではないか。それが新たな 2 期目の骨子に表れてくるのではないかと思う。</p>
D	<p>1 期の中身の検証について質問だと思うがいかがか。</p>
E	<p>もちろん検証は大事だと思うが、全て細かく見直していくと恐らく資料と時間が大変なことになると思う。</p> <p>もう一つは、おっしゃるように意見を挙げると言われても、この情報について私たちは何を言えばいいんだろう。項目は決まっている。振り返る方が意見を言いやすい。月に 1 回の会議で検証するのは時間がかかると思う。</p> <p>いろんな分野の市民レベルの方が集まっているので、私は生活の中で出会った人や経験からこういう所を直せばよいという次元でしか意見できない。その方が建設的だと思う。稚拙な意見だと思うが、若者が朝倉の地にどうやったら興味を持って定住してくれるのか、具体的にこういう所にこういう支援があつたからこういうことをやっていくと良いですね等。</p> <p>例えば、朝倉市役所からフェイスブックでイベントのお知らせが流れてくる。その中に婚活支援みたいなものがあつて、良い取組だと思ったけれども内容を見たらとても古かった。一生懸命企画されているとは思いますが、知人の若い女の子に参加してみたらと勧めたが「ちょっとこれは参加できない」と言っていた。A 市に同じようなイベントがあつて、それはまだオシャレでこっちであればと彼女は言っていた。具体的なシーンで気づいたことを含めて活かしていけると、お役に立てるのではないかと思う。</p>

委員名	意見、考え等
事務局 1	<p>ありがとうございます。資料2で第2期の骨子をまとめているが、初めて出す項目、施策の体系である。今後、これに修正を加える必要があると考える。</p> <p>例えば、1つ項目を増やす、違う表現が分かりやすい等、委員の皆様と、担当課の意見を聞きながら同時並行で骨子案を考えていきたい。文字ばかりで堅苦しい印象を受けると思うが、「仕事を作り出すにはどうしたら良いか。」「結婚・出産・子育て・若い世代の希望を叶える街にするにはどうしたら良いか。」「人の流れは転出超過が続いているが、転入を増やすにはどうしたら良いか。」以上のような意見を遠慮なくいただきたい。</p>
D	<p>これは骨子、項目を箇条書きにしているだけで、今から深め、具体的な施策に結び付けていく最初の頭出しだと思う。したがって委員さんが仰った婚活においても、例えば基本目標の3の(1)に結婚応援とあり、①出会い・婚活の支援という項目があがっている。市民の目から見ると婚活支援するなら若い人受けする事業をやっているかないと実際には成果に結びつかない。そこで、皆さん自身の経験が骨子を肉付けする時に必要になることもある。</p> <p>それから、移住・定住促進でも①UIターン支援とあるが、Uターン・Iターン・Jターンそれぞれ違うわけで、例えば朝倉市はUターンに力を入れたらよいか、Jターンに力を入れたらよいか等、一緒にせず、重点的にやってそれを住まいと結びつけた方がより効果的なんじゃないか等色々考えられると思う。お気づきの所をなんでも良いので仰っていただけたらと思う。</p>
F	<p>基本目標1のしごとの分野で(1)と(2)と分けられているが、私たちは農林業も大きなくりで産業経済という部分で1つと思っている。朝倉は農林業が基幹産業であるので分ける必要があるかと思うが、生産性に関係してくるので経済としては一緒にした方が良いと思う。</p> <p>もう1点は、観光において現在あるものの充実や強化とあるが、将来に向けて多面的なものを作り上げていく。種をまいて作り上げていく。他所から人を呼び込むには創出していくのも必要である。</p> <p>最後に、国ではSDGsについて触れられているが、第2期骨子の中で“環境”という部分が見当たらない。入れた方が良い。</p>
D	<p>最初は、農林業だけでなく、全産業として取り扱った方が良いんじゃないかというご意見である。2番目は観光。すでにあるものではなく、無い物、新しい種づくり、これも朝倉に無いようなものを入れる考え方。3番目は環境、SDGs。国の資料でも「地方創生 SDGs 実現等の持続可能なまちづくり」は強調している所であるが、それに該当するような朝倉の項目が見当たらないということだと思う。</p>
事務局 1	<p>まず、総合戦略を作るにあたり国や県の方向性にならって整備をしていく必要があるが、各個別項目について地域の特色を盛り込みながらという部分も当然ある。</p> <p>実は、H30年度において、第1次朝倉市総合計画をまとめている。10年分の構想になる。その中で前期計画において4年間の計画になるが、農林業と観光、商工業については全体としては産業の振興となるが、それぞれ別の施策として3つの柱としている。</p> <p>特に、災害が発生した中、もともと農業は担い手不足の問題を抱えている中で、今後いかに担い手を確保していくのか非常に重要な課題になってくる。それからH29、H30の災害で一番問題になったのは山林の荒廃である。大規模な土砂崩れ、山肌の崩落が起こり、林業は建て直していくことが急務の為農林業について力を入れてほしいという当時の審議会の方々の要望も有り、分けている。意見は参考にさせていただきたいが、総合計画も見ながら総合戦略を作っているところがある。</p>
事務局 1	<p>2番目の意見、観光振興の中で種づくり、新たな資源の創出等の意見については(3)観光振興、①地域資源の充実(磨き上げ、活かす。)と書いてあるが、観光資源の“掘り起こし”“発掘”という言葉も入れて、委員が仰られた視点も含め肉付けの時に整理をしていきたい。</p> <p>3番目の意見で出た環境・エネルギー項目が入っていないということについて、「SDGs持続可能なまちづくり」に触れていきたいと考えている。国の資料にもあるが、SDGs、Society5.0、未来技術の活用等については特定の分野に絞った取組ではなく、横断的な取組になっており、同様に考えている。確かに環境分野についての項目がないので、意見としていただき検討したい。</p>

委員名	意見、考え等
事務局 1	先ほど仰られた若者の地元就職支援について答えさせていただきたい。地元の高校生を対象として地元企業の協力の下、毎年説明会を開いている。例えば去年は 30 人の高校卒業予定者が参加していただいた。そこは会議の資料では見えない。数値が見えるものを委員の皆様様に配布し、実際細かい作業はどういうことをしているか、どれくらいの成果が上がっているか、紹介できるようにしたいと思っている。この場ではなく送付させていただきたい。よろしく願います。
A	基本目標 1 の (1) 地域経済の活性化の中で“企業の誘致”あるいは“新たな地域産業の創出”ということで、どんどん外から取り込んでいこうという施策が書いてあるが、実際、事業をすでにやっている方の事業継承は問題になっていて、事業継承できず廃れていき産業が縮小していく事態も起きていると思う。産業を創っても次から次へと減っていけば、合計は増えないと思う。農業の担い手や人材の定着の問題も含まれてくると思う。事業継承に関しても考慮した方が良く感じた。
事務局 1	地域経済の活性化の中で、今起業している方の継承ということについては基本目標 1 の (1) ④【人材の確保・育成】の中で触れていきたいと考えていた。国は地域を担う人がいなくなる為、第 3 者が事業を継ぐ事も考えている。朝倉市もそういう視点を踏まえ、第 2 期の骨子に肉付けしていきたい。
事務局 1	地場企業として創業している方については、実際朝倉市は有効求人倍率が 3 倍を超えている状態である。人手が足りていない。人を確保するのに非常に苦慮している。新しい企業誘致は当面止めてくれという方もいる。しかし、自治体として体力をつけるためには企業誘致も進めていかなければならない。どうバランスをとるのか課題として常に考えていかなければならない。そこはご理解いただきたい。
B	第 2 期の基本目標 3 の (4) 学校教育の充実に関して、先日 A 高校へ久しぶりに行ったが、学校そのものが変わり定員が減っていた。掲示されていた進学先の一覧を見たが、D 大学に 6 人くらいしか行っていない。また、B 高校はなくなり、C 高校は名前が変わっている。A 高校を中心に進学に力を入れる必要はあるかと思うが、朝倉市内の高校についてこれからどうしていこうか、県立高校のため難しいのかもしれないが、地元から見るとどんな高校であってほしいと思うか。
事務局 2	県立高校のため、朝倉市としてどこまで関与できるかという点はあるが、朝倉市としては総合戦略以前から「高校生の提言」という施策で、毎年高校生から市に対する提言の場を設けている。その中には実現化した例もいくつかある。最近では A 高等学校に限らず、高校の授業の中で探求する、地元を知るカリキュラムが組み始められている。総合政策課の職員たちも率先して学校に出向いている。朝倉市のことをより知ってもらい、高校生の目から見て地域社会がどのようにしたら変わっていくのか。いい方向に行くのかということをお勉強している。来月、高校生が一斉に市役所に来るが、県教委とは別に市として、地元の高中生と意見のやり取りを図ることで行政としてできることを見出していく。このような取り組みをさらに充実していこうと動いている。
G	農林業、6 次産業化・ブランド推進の所でグリーンツーリズムの推進と書いているが私の知り合いもしている方がいる。正確な数は分からないがたくさんいる。それを今から増やしていこうということか。
事務局 1	農泊、グリーンツーリズムに関して実は朝倉市は県下でも相当レベルの高い実績がある。市役所の職員は 500 人位いるが、担当部署外の職員がグリーンツーリズムを知らないということがあった。たまさか県から朝倉市のグリーンツーリズムは凄く実績が上がっていると訪ねて来られて力を入れてくださいと言われてやっと気が付くということがあった。グリーンツーリズムを推進することはすなわち関係人口を増やすということに直結するので、今後も受け入れ先を増やしていく。担当部署だけでなく応援していただいた人、外部から関わる人を含め関係人口をいかに作っていかねばならないのが大事になる。先ほど高校生の話が出たが、市外から通ってくる子供たちを取り込んで朝倉市に関わってもらい、関係人口を増やしていることにつながる。少しでも「朝倉市で何かやってみよう、住んでみよう」に結び付けられるような取組を今後やっていかないと、朝倉市が生き残ることは難しいと考えている。そこは力を入れていきたい。
C	グリーンツーリズムの組織・取組について具体的な説明をしてほしい。

委員名	意見、考え等
事務局 2	県内でもトップクラスのグリーンツーリズム組織がある。先進地である A 県 B 町で研修もし、ここ数年中学校単位で修学旅行を受け入れている実績がある。近くは B 市から、県外から C 県他多数。特にこの 5 年間について、まず受け入れ態勢の充実、戸数を増やすことを、県の力添えもあり進めてきた。一時期は 70 戸～80 戸（実際確認ができない戸数まで）増えたかと思う。一世帯あたり 3～4 人の子供たち、民泊者を受け入れる。さらに充実させるために、今年度途中から地域おこし協力隊制度を活用して取り組んでいる。集落支援員の方たちも 3 年前から特に松末地区、高木地区においてふるさと課の業務の空き家バンクの情報収集をしながら、地域の中に入っていこうという取組もやっている。そこも拡充しながら更に今後 5 年間継続拡充しようという思いである。
E	話のテーマがあちこちに飛ぶので、例えば 1 つについて内容を見て、次へ、最後に全体を見るという流れにさせていただくと意見が言いやすい。まとまりにくいのではないかと感じる。 もう 1 つは、情報発信力についてである。高校生の提言やグリーンツーリズムなどの話をきいて、そのような取組をしているのだなと知った。先ほど発言した若い人向けの出会い場提供イベントは誰が知っているのか、たまたまフェイスブックを見た人しか知らない。情報の広がり方が足りないのではないかと。本当に良い取組があるし、市内のどこそこに JA の販売所がある、福岡市での朝倉市の作り手のイベントが開催されるなど、共通して情報が広がるシステムがあれば良いと思う。
事務局 1	情報発信力について前回の会議の中で別の委員からのご指摘を受け、朝倉市は情報発信力が弱いという自覚がある。そこは強く今後の課題として整備していかなければならないと考える。ホームページをリニューアルするとか、発信ツールを使うという手もあるが、効果的な発信方法を上手な自治体から学ぶ必要がある。総合戦略とは別にスキルを整備していきたい。 総合政策課は IT の担当部署も抱えているので耳が痛い頑張っていきたい。
D	前半バラバラ意見が出ているという意見に関して今日は骨子の頭出しなのでブレインストーミング的というか、各委員から思い付きでもいいから意見を伺いたい会議だと思う。段々と集約しながら重点的な箇所に向かって議事を進めるのだと思う。
D	ある大学の大学生が教授と共に朝倉市に来ているが、それも関係人口になると思い、若い力を活用していただきたいと思っている。
A	古処山の下から嘉麻市へトンネルが出来たのか。うきは市から八女市にトンネルが開通していて、国道 386 号線を軸にやっていたのが筑豊から筑後につながるような流れができるような気がする。移動時間が非常に短縮でき人を呼び込むような施策、人の流れが変わることにより期待される所はあるか。
事務局 1	八丁トンネルが 11 月 16 日に開通している。開通したことにより行き来し、新たな産業の創出（物流関係の会社が進出する）、起業する方が出てくる可能性に期待している。観光面についてもトンネルの先に秋月があるので、観光客が来ること、人の流れが朝倉に向かうことにも期待している。先日、トンネル開通前に嘉麻市と朝倉市共同の 322 人のつなひきイベントを行った。将来的に地域間の連携を考えていかなければならない。
事務局 1	隣の嘉麻市だけでなく北九州まで睨んだ上で連携を深めていきたい青写真はある。打合せ等担当部署で進めている。小石原ダムがもうすぐ完成すると、1 つの自治体の中に 3 つのダムがある非常に珍しい市になるため、これも観光資源として売り出していきたい。遠方でイベントを開催し客を呼び込む案等を現場で考えていて予算要求を行っている。ただし、予算がつかつかつかないかは分からない。新しい動きを視野に入れ担当部署で動いている実状である。
G	卑弥呼ロマンの湯、健康福祉館は凄く良い温泉だ。トンネルが出来たせいか行橋から来たお客さんが「所要時間が数十分短縮されたから、その分お風呂にゆっくり入れる。こんな良いお風呂はどこでもあるわけではないからもう少し PR してもいいんじゃないの。」と言われた。卑弥呼の湯は天然かけ流しの良い温泉であるのに、開業時に比べ今は閑散としている。「どちらからお越しですか」と聞くと県内遠方のお客さんが多かった。現在は市の直営なので、もう少し PR しても良いのではないかと。
事務局 1	PR が下手だと認識、重々理解している。卑弥呼ロマンの湯は運用形態が色々変わり、昔は食事ができ、お酒も飲むことができたことから非常に人気があった。しかし、トラブルが発生し食事やお酒の提供をしなくなり、少しずつ来館者数が減った経緯がある。今はご存じかと思うが、市の直営に戻しているが、今後どうしていくかは現場で検討しているので、PR の仕方も含め見直しもきちんとやっていきたい。観光資源の 1 つとして利用していきたい。

委員名	意見、考え等
G	今は売店がテナントで入っているので、お弁当は販売している。
E	情報発信のことで卑弥呼の湯に限らず、参考までにお知らせしたい。近隣の某大学の先生・学生と交流したことがある。彼女たちの取組をどう発信したかという大学生がフォロワー数を増やすことを頑張った。インスタグラム等で広がると情報が広がり、きっかけがあるとまた広がる。フォローしてくれると特典を付けたりしたと話していた。効果が目に見えて返ってくるので学生たちの頑張りにつながったと聞いた。ホームページはわざわざ開かないといけない。開かせるためには、そこを見るとオシャレなもの、素敵なものに出会える、面白い情報、得をする情報を得られるイメージを全体的に印象付けるといいのではないか。
D	Society5.0ということですね。新しいネット上の取組。遅れないようについていけないといけません。
H	基本目標4(5)③中山間地域等の生活支援【買い物支援、交通手段、福祉等】について現在行っているのか。夫が車を運転できない時期があり福祉バスを使おうとした際、予約を前日に入れないと乗れない、目の前にバスがいても乗れない、不便だ。山間部ではなく朝倉市の大庭に住んでいるが、買い物に歩いていけない、自転車はあぶない、来なきゃ困るという話をしていた。実際に困っている人は、甘木・立石地域でも売りにくれば買える人はたくさん居るのではと思う。地域は忘れたが、どこかの地域では企業が移動販売していて便利だと聞いた。朝倉市も困っている人への支援はどうなっているのか。充実させてほしい。安心して年をとれない。
事務局1	コミュニティバスを全面的に否定されると支援が難しくなる。補助金を出しているのでバスを使っていたかかないと、使いやすい方策をどうするか考えなければならない。ところで、コミュニティバスは現在1時間前までの予約で乗車可能となっている。 買い物支援については美奈宜の社で民間事業者と組んで実施している。住宅がまとまっている地域なので企業も買い物支援がしやすい。密集数の問題があり、企業に支援を申し入れても相手をしていただけの実情がある。元々1期計画にもあるので、具体的にどうやるのかについては宿題として預らせていただきたい。
事務局1	資料を見比べて前の計画も見えていただきたいので、次の予定12月末までにお気づきになった点があれば事務局に資料提供の要望や意見をいただきたい。時間がない中で総合戦略を作っている為、ご無理を申し上げていると重々理解している。よろしく願います。
F	基本目標2の特に(1)について①と②だけで良いのか。関係人口は新しい考え・取組と思うので、もう少し表現を付け加えた方がいい。
D	関係人口に関してもう少しよく検討して広げていった方がいいのではないかと。国の基本目標でも関係人口の創出・つながりの拡大と書いているので、朝倉市としてどうするかということも、もう少し関係人口というキーワードの中で考えてほしいということだと思う。
E	基本目標4の(4)災害に強いまちづくりについて防災はあるけど防犯の記載はない。「犯罪がない、安心なまち」とアピールできると思う。例えば、小中学校では防犯教室があっていると思うが、大人向けに警察を絡めて護身術講座を開く。意識的に防犯の動きを見せると良いのではないかと。
事務局1	関係人口に関して確かに①と②だけでは弱いと思うので、いろんなアプローチを含め検討したい。 防犯については、視点として漏れている所だと思う。護身術に関しては研究の必要があるが項目を立てるか検討したい。
事務局1	今後、質問・要望等をメールでやり取りしたい。

(4. その他)

(5. 閉会)

次回は12月末の予定。

以上